科目名 (Eng)	情報基礎(Information Literacy)								
担当教員	布施 雅彦								
対象学年等	学科・専攻	学年	授業期間	区分	単位数	時間数	分野	形態	学修単位科目
	電気工学科	1	通年	必修	2	60	専門	C	

目標基準との対応	
	福島高専の教育目標との対応：(B-3). (D-2). (D-3). (F-3).
	卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：2). 5). 6).
	JABEE基準1(1)との対応：

授業の概要と方針	福島高専のICTシステムの活用および情報系科目の基礎となる事項を学習する。eラーニング2.0のコンピュータやネットワークを利用して、情報・メディアリテラシーを習得する。
到達目標	①PC・モバイル端末等利用し、ネットを活用し日々コミュニケーション・学習ができる。 ②WEBを通しての基本的な情報発信ができる。 ③アプリケーションソフトを利用して基本的な発表・計算・立体的な表現ができる。 ④情報社会の基礎知識や情報マナー・倫理を理解する。

授業計画

	週	授業項目	理解すべき内容	事前学習
前期	1	オリエンテーション	学習の進め方、演習室の利用方法	
	2	ネットワークの利用方法(1)	eメールの利用、Webの利用、タイピング	キー入力の確認しておくこと
	3	ネットワークの利用方法(2)	情報倫理（個人情報・著作権）	該当する教科書を読んでおくこと
	4	情報の基礎(1)	コンピュータの基本構成	該当する教科書を読んでおくこと
	5	ネットワークの利用方法(3)	情報倫理（セキュリティー）	該当する教科書を読んでおくこと
	6	画像処理	デジタル写真の使い方	デジカメ等で写真を撮っておくこと
	7	プレゼンテーション(1)	文字、図形の入力方法、絵図	過去の発表ビデオを参考に自分の発表について考えておく
	8	プレゼンテーション(2)	スライドの製作方法	該当する教科書を読んでおくこと
	9	ICTの活用	モバイル端末の利用方法	ICT端末を持っている学生は充電しておくこと
	10	WEB表示の言語(1)	タグの使い方	過去の作品を参考に何を制作するか考えておく
	11	WEB表示の言語(2)	Webページ作成	制作のための素材を準備しておくこと
	12	プレゼンテーション(3)	発表の聴講、評価	十分に発表の練習しておくこと
	13	プレゼンテーション(4)	発表の聴講、評価	十分に発表の練習しておくこと
	14	プレゼンテーション(5)	発表の聴講、評価	十分に発表の練習しておくこと
	15	プレゼンテーション(6)	発表の聴講、評価	十分に発表の練習しておくこと
後期	16	WEB表示の言語(3)	Webページ鑑賞、検討	チェックシートでWEB課題を確認しておくこと
	17	表計算(1)	入力方法とsum関数	EXCELLの基本操作を練習しておくこと
	18	表計算(2)	average、max、min関数	EXCELL関数について調べておくこと
	19	表計算(3)	グラフ、その他の関数	グラフの種類や特徴をまとめておくこと
	20	表計算(4)	応用課題	復習をしておくこと
	21	応用コンピュータ演習(1)	立体表現/モデリング	該当するプリントを読んでおくこと
	22	応用コンピュータ演習(2)	立体表現/立体物の制作	eラーニング教材利用して予習・復習をしっかりしておくこと
	23	応用コンピュータ演習(3)	立体表現/マッピング	eラーニング教材利用して予習・復習をしっかりしておくこと
	24	応用コンピュータ演習(4)	課題演習・制作	過去の作品を参考に何を制作するか考えておく
	25	応用コンピュータ演習(5)	課題演習・制作	過去の作品を参考に何を制作するか考えておく
	26	情報の基礎(2)	情報の単位、n進法	該当する教科書・プリントを読んでおくこと
	27	情報の基礎(3)	n進法の計算	該当する教科書・プリントを読んでおくこと
	28	情報の基礎(4)	論理回路	該当する教科書・プリントを読んでおくこと
	29	情報の基礎(5)	タイピングテスト等	タイピングの練習をしておくこと
	30	まとめ	まとめ	

試験について	期末テストは行わない。
評価方法	授業への取組み10%、課題（65%）・小テスト等25%として評価する。
教科書	最新情報A 実教出版　これだけ！エクセル 数研出版 ポイント整理情報モラル 数研出版
参考書	これだけ！パワーポイント 数研出版
関連科目	
履修上の注意	ICT機器を利用して、日々コミュニケーションを取れる環境を準備し活用すること。学校・著作権・ネチケットなど規則を順守する。また、課題は精一杯取り組み、《提出期限》を厳守する。